

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学八王子医療センター呼吸器外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

肺癌症例における腫瘍細胞および樹状細胞上の PD-L1/PD-1・CD47 の発現と再発、予後の関係

[研究の背景と目的]

肺癌は、がん死亡の中でも、最も頻度の高い疾患となっており、その対策や診断・治療がますます重要となってきました。近年肺癌における免疫チェックポイント阻害剤は薬物治療の柱のひとつとなっていますが、いまだに免疫療法が効かない症例も多いのが現状です。

近年、樹状細胞の腫瘍免疫における重要性が指摘されています。腫瘍あるいはその周囲に浸潤する樹状細胞上の、PD-L1、PD-1、CD47 といった免疫制御スイッチの発現の関係を検討することは、肺癌に対する腫瘍免疫の関与を検討する上できわめて重要と考えられるとともに、予後予測の一助となりうると考えています。

[研究の方法]

対象となる方

2015年1月1日～2018年12月31日の期間に当院にて肺癌と診断され手術が行われた患者さん

研究期間

倫理審査承認日から2022年12月31日

利用する検体やカルテ情報

年齢、性別、病理所見や病期および治療内容(術式、無増悪生存期間、Performance Status(PS)、生存期間、有害事象、奏効率等)

切除された肺癌組織の病理学的な検索

[研究組織]

研究代表者:東京医科大学八王子医療センター呼吸器外科 助教 伊藤 楨

分担研究者:東京医科大学八王子医療センター呼吸器外科

教授 梶原 直央

助教 江里口 大介

主任教授 池田 徳彦

東京医科大学病院 呼吸器外科・甲状腺外科

東京医科大学八王子医療センター病理診断部

教授 平野 博嗣

准教授 中津川 宗秀

講師 沖村 明

助教 脇屋 緑

東京医科大学八王子医療センター臨床腫瘍科

教授 青木 琢也

[個人情報の取扱い]

個人情報管理者名 東京医科大学八王子医療センター呼吸器外科 教授 梶原 直央

個人情報の保護および保管方法

調査より得られたデータを取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮します。特定の個人を識別することができないよう、研究登録番号を付与します。対応表は個人情報管理者が厳重に管理し、自施設外に個人情報の持ち出しは行いません。

研究に関するすべての記録・資料は、研究結果を再現できるよう、確実に保管されます。資料は鍵付きの保管場所で保管します。

[問い合わせ先]

氏名:梶原 直央

医科大学八王子医療センター呼吸器外科

連絡先:042-665-5611(内線 7458)